



Minami Wakayama
Medical Center

Vol.56

南 輝

なんき

独立行政法人国立病院機構 南和歌山医療センターだより



題名：明日へ 撮影者：診療放射線技師 大槻 勇一郎

基本理念 思いやりのある医療を実践します。

あなたの権利を尊重し
あなたを中心とした
あなたに適した医療を提供します

1. プライバシーの尊重を実践します。
2. 親切・丁寧なケアを実践します。
3. わかりやすい説明と納得による診断治療を実践します。
4. 地域医療機関との連携強化を図ります。
5. 自ら研鑽に努め、良質な医療の提供に役立ちます。



Minami Wakayama
Medical Center

南和歌山医療センターの基本理念である
『思いやりのある医療を実践します』に基づき、

1. 明るく (A)
2. 挨拶があり (A)
3. 愛のある (A)
4. アカウンタビリティ (納得説明義務) (A)

の4つの頭文字のAを基本デザインとしています。

これは丸みをおびた形でやさしさを表現し、4つの理念が集まることで、空 (明るい未来) に向かって羽ばたく鳥を表しています。4つのカラーは黄色が明るさ、赤が愛、青と緑は南和歌山の自然の象徴である綺麗な海と、山を表現し、南和歌山医療センターの環境の良さもアピールしています。

受診者の皆様の義務

- 南和歌山医療センターは受診者の皆様と病院の双方がお互いに尊敬し、協力し合うことが安全かつ良質な医療の提供につながるものと考えています。
受診者の皆様には以下の事項に合意し、守っていただく必要があります。
1. 安全かつ最善の診療のためにご自身の身体や必要事項に関する情報を、私たち職員に正確に伝えていただくこと
 2. 検査・治療は説明を受け、納得・合意の上で受けていただくこと
 3. 当院は近隣の医療機関と連携して専門性の高い医療を提供する急性期病院である。救命救急、がんに対する医療と緩和ケアを提供する病院の役割をご理解の上、診療体制維持に協力いただくこと
 4. 病院内では静粛を保ち、院内のルールに従っていただき、他の来院者や入院中の方に迷惑をかけることのないよう配慮していただくこと
 5. 病院内ではお互いに礼儀正しく思いやりのある態度で接していただくこと
 6. 医療費の支払い請求を受けたときは遅滞なくお支払いいただくこと

受診者の皆様の権利

- 患者としてあなたには
1. 良質で公平な医療を受けられる権利があります。
 2. 人格や価値観を尊重される権利があります。
 3. 個人情報を守られる権利があります。
 4. 診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
 5. 治療法を選択できる権利があります。
 6. 治療法について、第三者の意見を聞くことが出来る権利があります。
 7. 貴方の診療記録の開示を求める権利があります。

新任医師紹介

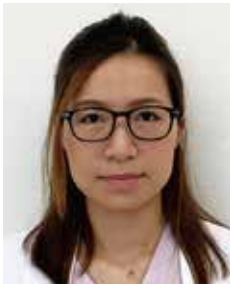
どうぞよろしくお願ひ致します。

外科医長 渡邊 高士 (わたなべ たかし)



兵庫こども病院、大阪母子医療センター、和歌山県立医科大学、泉大津市立病院を経て2020年10月より南和歌山医療センターに赴任して参りました。これまでに小児外科、消化器外科を中心に学んで参りました。この経験を活かしながら、院内のスタッフ、地域の医療機関の皆様と連携し紀南地域の医療に貢献できるよう頑張っ参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

胸部・心臓血管外科医師 中西 靖佳 (なかにし やすか)



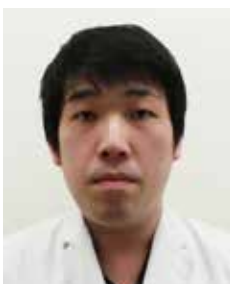
2020年10月より南和歌山医療センター 胸部・心臓血管外科へ赴任となりました中西靖佳と申します。これまでは和歌山県立医科大学附属病院にて主に心臓血管外科領域を診療しておりました。ここでは呼吸器外科、末梢血管疾患を中心に診療させていただくこととなります。まだまだ未熟な点もたくさんあるとは思いますが、紀南地域の医療に貢献できるよう日々精一杯努力してまいりますのでどうかよろしくお願ひいたします。

整形外科医師 中西 竜一郎 (なかにし りゅういちろう)



10月より南和歌山医療センターへ整形外科医として赴任しました中西 竜一郎と申します。一般整形外来、救急外傷などに携わり、地域の皆さまの力になれるように精一杯頑張っ参りたいと思ひます。今後ともよろしくお願ひ致します。

救命救急科医師 奥村 晃平 (おくむら こうへい)



2020年10月より南和歌山医療センターの救命救急科に赴任して参りました奥村晃平と申します。9月までは県立医大附属病院の救急外来及び集中治療室で診療に携わっておりました。皆様が安心して地元で暮らしていけるよう、地域医療・救急医療を通して少しでも貢献できたらと思ひしております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

診療科紹介 「脳神経外科」

脳神経外科医長 尾崎 充宣

2020年4月から中村善也先生の院長就任に伴い、私たち脳神経外科も新体制となりました。和歌山県立医科大学脳神経外科より新しく就任しました尾崎です。どうぞよろしくお願い致します。ご存知のように当科には中井國雄名誉院長、中村善也院長から直接手ほどきを受けた若手精鋭4人が24時間365日体制で救急診療に当たっており、特に脳卒中急性期治療におきましては直達手術、血管内手術ともに精度の高い治療を行なっております。また近隣病院、医院の先生方からご紹介頂いた貴重な症例に対して最善の治療を提供させて頂けるように日々研鑽をしております。4月に赴任した私にとって、この水準を保ちながらさらに発展させていくには非常に荷の重い役職ではありますが、「5人目の若手」として1つのチームで患者さん一人一人に対応していく所存であります。脳神経外科医としての質の高い手術を行うことはもちろんのこと、脳卒中の内科治療、脊髄疾患や認知症、てんかんなどの神経疾患にも積極的に携わっていきたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。



南和歌山医療センターでの 新型コロナウイルス検査体制について

臨床検査科

南和歌山医療センターでは令和2年7月より新型コロナウイルス抗原検査を、令和2年8月末よりPCR検査も実施しています。令和2年7月より簡易キットを使った抗原定性検査を実施していました。8月より自動分析装置（ルミパルス）にて測定感度の高い抗原定量検査を導入しました。抗原定量検査では感度が高くなるため簡易キットでは対象でなかった無症状者も検査することが可能です。また、高感度のため唾液での検査が可能となりました。このため検査を受ける方の負担も減り、採取の際の感染リスク軽減にもつながりました。

当院では新型コロナウイルス感染拡大の予防策として9月より入院・手術を受けられる患者さんを対象に抗原定量検査を行っています。10月からは内視鏡検査を受ける患者さんも検査対象となりました。抗原定量検査の無症状者・唾液での検査が可能な自動分析装置（ルミパルス）設置は現時点では紀南地域で当院のみです。地域医療に役立つよう、他医療機関の紹介にてドライブスルー方式の検査を実施しています。

細菌検査室での抗原検査の検体処理は臨床検査技師が個人防護具（Personal Protective Equipment：PPE）を着用し、安全キャビネットで行います。現在は平日11時・14時・16時に検査を行っています。その後、ルミパルスで抗原定量検査を行います。

新型コロナウイルスに関して、日々新しい情報が発信されている状態です。当検査科では常に新しい情報を得て、地域医療に貢献出来るよう努めてまいります。



写真左：当院3階 細菌検査室 安全キャビネットでの検体処理

写真右：当院3階 総合検査室 自動分析装置ルミパルスG1200

編集後記

今年はコロナの影響でいろいろなイベントが中止になり家で過ごすことが多くなりました。私は運動不足解消のため、息子と一緒に走ったり踊ったりしています。皆さまはどのようにお過ごしでしょうか？最近はずっかり朝夕冷え込むようになり、体調管理に気を付けながら深まる秋を楽しみたいです。

臨床検査技師 井原千晶